

平成 30 年 2 月 10 日

〈家庭数〉

山野小 PTA 会員の皆様

世田谷区立山野小学校

PTA 会長 植木 優介

家庭教育学級委員長 岩木 恵

平成 29 年度 第三回家庭教育学級 開催報告書

向春の候、PTA 会員様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度第 3 回家庭教育学級を 2 月 7 日に開催いたしましたので、以下に内容の一部をご報告申し上げます。

今回はメンタルヘルスをテーマとして、サッカー解説・指導にご活躍中の北澤 豪先生にご講演いただきました。当日は、5、6 年生の生徒も参加し、PTA 会員様も 70 名程お集まりいただき、盛況のうちに終えることができました。

『目標を持ち 1 つずつクリアしていくことの大切さ』

ピンチをチャンスに変える心構え』

相手に何かを伝えるときは、相手に合った伝え方・教え方をすること。

⇒親は、子どもの性格や個性を見極めて声をかける。

失敗した時に、その人が次にチャレンジできるよう導いてあげることが大切。

⇒ミスした時にミスが許される環境づくりをする。ミスが許されない環境だと、次によりたくなってしまう。

話を聞く姿勢が大事。

⇒話をする人が「期待されている」と感じられる雰囲気作りが大切。拍手や歓声の大きさ等で表す。

楽しく思えるような努力が一番ゴールへの近道である。



5、6年生の中から何名かをステージに上げてお話をいただきました。

1. リフティングの実演（男子生徒1名）
2. 色々なスポーツ経験がある男子生徒4名が、どの様にボールをゴールへ入れるか。
⇒手で投げる子、足で蹴る子がいた。子どもの性格や能力は親が見極めてあげるのが大事。
3. ボールを自分の大切なものに見立てて、どう扱うか（女子生徒3名）
⇒大切なものは、指先で扱うとすぐ離れてしまう。
チャンスを獲得するためには、日ごろからきちんと用意することが大切。
時間を無駄にしない。
4. 2人組になって手を合わせる（全員参加）
⇒手が下側だった人がポジティブ、上側の人ネガティブ。下側の人先手を握ろうとした人がだから。
何かをやってくださいと言われたときに、「えー」「やだな」と言うのが習慣になっている人はチャンスが見えなくなる。
5. ボールを蹴って椅子に乗せる（男子生徒8名）
⇒子どもそれぞれに対して、その子の性格に適した声掛けをする。

～ 参加者アンケートより ～

- ・「期待される雰囲気」作りが大事だと強調され、育児や教育にも当てはめることができると
思います。
- ・子供の個性を見極めて声のかけ方をかえる等、実践できるところから始めたいと思います。
- ・子どもたちの参加を交えたはとても聞きやすく、楽しかったです。
他の学年の子どもたちにも聞いてもらいたかったです。
- ・チャンスがきたときにつかめるように、普段からの心がけ、時間の使い方等非常にため
になりました。

